

2017.02.25

「熊本地震直後の物流の現状について」

日本経営工学会九州支部論文誌『経営工学研究』第 19 号, 27 ~ 32 ページ .

【要約】

本研究は、八代市に存在するトラック運送会社の実態及び関係企業への聞き取りにより、熊本地震が物流に及ぼした影響を把握することを目的とした。

九州自動車道の通行止め等により通行可能な道路が限られた上、避難車両、支援物資輸送車両の増加により、一般道路は大渋滞となった。また、下請け協力会社の車両が手配できなかったため、自社車両のみで対応しなければならず、往路の荷物を降ろした後、復路の荷物は積まずに直ちに八代へ戻り、出荷された青果物を全て輸送することに努めた。その結果、走行距離に対する売上高へはやや減少したが、売上高そのものに対する影響及び運転手の拘束時間への影響は、少なかったことがわかった。